

# 公民館1日講座の参加者を募集します

## 七会公民館

### そば教室

日時 12月13日(土) 午前9時30分から  
 場所 野外活動センター やまびこの郷  
 対象者 町内在住または通勤・通学されている方  
 定員 12名(定員になり次第締め切ります。)  
 受講料 材料代1,200円程度  
 ※当日徴収します。  
 持参品 エプロン、タオル  
 講師 全日本素人そば打ち名人  
 河原井 雄一 先生  
 申込期間 11月11日(火)~30日(日)  
 申込先・問合せ 七会公民館 ☎0296-88-3210

## 岩船地区公民館

### お正月苔玉づくり

日時 12月21日(日) 午前10時~11時30分  
 場所 岩船地区公民館 多目的ホール  
 対象者 町内在住または通勤・通学されている方  
 定員 16名程度(定員になり次第締め切ります)  
 参加費 材料代700円 ※当日徴収します。  
 持参品 エプロン、はさみ、直径15~20cm位の器  
 講師 寺門 千枝子 先生  
 申込期間 11月23日(日)~12月7日(日)  
 申込先・問合せ 岩船地区公民館 ☎029-289-4535  
 (受付/水・金・日曜日、午前9時~午後5時)

## 短歌

秋草のやさしく描かるる盆提灯  
 記憶の中の亡母と会ふとき  
 渡辺 千紗子  
 老いゆくに「呆け」てはならじ  
 と牛製品緑茶サイバイワシカルシ  
 ウムを食む  
 山形 式妙  
 柿の実が色づき染めて秋に入る  
 季のうつろひひそやかに過ぐ  
 大森 久子  
 大相撲横綱三人は外つ国ぞ  
 大和男子よ頑張れ頑張れ  
 青柳 京子

しろがねの光あつめて蓮の葉の  
 水はゆれゆれ命守らむ  
 所 美恵子  
 戦後六十九年を経れば体験の記  
 憶を語る人のすくなし  
 杉山 みち子  
 一夏の深き緑の木々の葉も錦色  
 染め秋風に舞う  
 鶴田 すが  
 腰痛め動けぬ吾に一切をまかな  
 いくれる夫の労わり  
 菌部 光子  
 友の家訪えばほのかに金木犀の  
 香りてすがし風とおる庭  
 枝 不美  
 ぬばたまの夜空あおげば旅客機  
 の灯ともして雲間飛行す  
 島 愛子



吹く風におされる如く枯れし葉  
 がくるくると舞い秋を告げおり  
 坪井 きよ子  
 「涼州詞」吟じて想う遠き日に  
 母より聞きし叔父の戦死を  
 萩谷 登喜子  
 新盆に訪ねし亡友は佛壇に他人  
 行儀に微笑むばかり  
 富田 佐智子

## 文芸しるさと

## 俳句

晴れてゐて雨降る不思議稲刈田  
 飯田 勇一  
 幾つものドラマのありて今年米  
 飯村 昭子  
 苔びっしり遊女の墓の秋日暮れ  
 鯉淵 寿美恵  
 菊師今姫に最後の刀差す  
 森 静江  
 泥つきの里芋洗ふ夫に恋  
 綿引 英子  
 葱を売る婆の大きな腕時計  
 一杉 常子  
 稲架解いて風の道知る峽の村  
 仲田 まちゑ

秋高しホワイトブルーのカルデ  
 ラ湖  
 今瀬 多代美  
 ちりとりの大口暗く金木犀  
 竹内 幸子  
 芋の露転がりつつも踊りけり  
 袴塚 よし子  
 赤き月地球の影の映りけり  
 瀬谷 博子  
 九月度のデーの日記のはま寿司記  
 岩下 金司  
 生かされて生きて今宵の秋の月  
 田口 勝元  
 岩ヒバに水たっぷりと秋の暮れ  
 富田 欽子

## 川柳

がんこ爺威張ってみても紙おむつ  
 富田 多蔵  
 景気より財布の底が先に見え  
 青木 新三郎  
 上を見て遠くを思う野のごとく  
 飯村 孝一  
**【お詫びと訂正】**  
 10月号に掲載した俳句の作者  
 氏名に誤りがありました。お詫  
 びして訂正いたします。正しく  
 は次のとおりです。  
 俄か雨去りて安堵の梅を干す  
 袴塚 よし子